

平成28年度 再評価

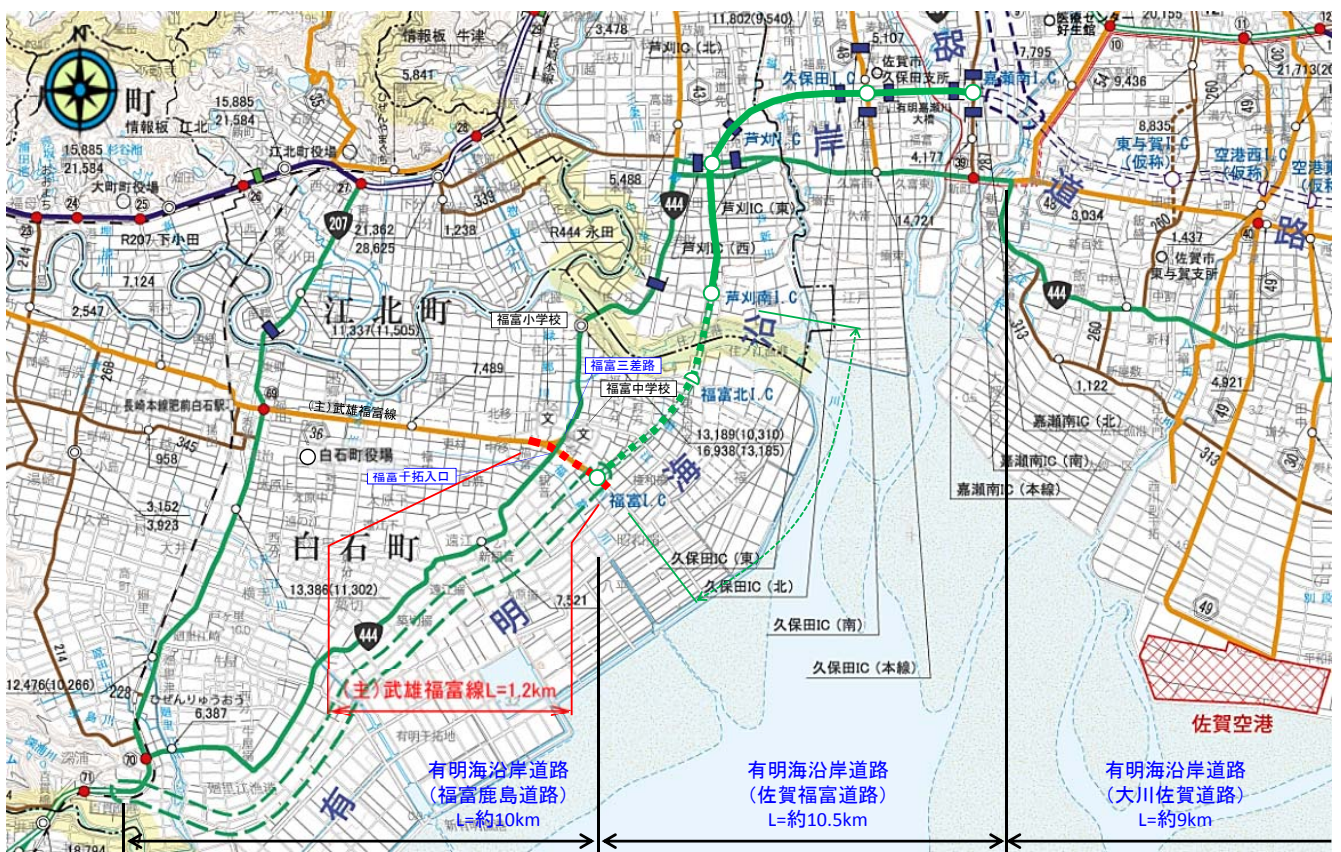
路線名：主要地方道 武雄福富線(福富工区)

事業名：道路整備交付金事業

事業地：杵島郡白石町福富

(社会経済情勢の急激な変化)

位置図



地域高規格道路ICアクセス道路補助事業への移行

○補助事業への移行理由

- 平成28年度に地域高規格道路の整備と併せて行われる、ICへのアクセス道路の整備に対し、集中的な支援を行うため、新たな個別補助制度が創設された。
- 武雄福富線（福富工区）は、平成26年度から交付金事業で進めてきたが、個別補助事業に移行することで計画的な事業進捗を図るための確実な予算を確保する。

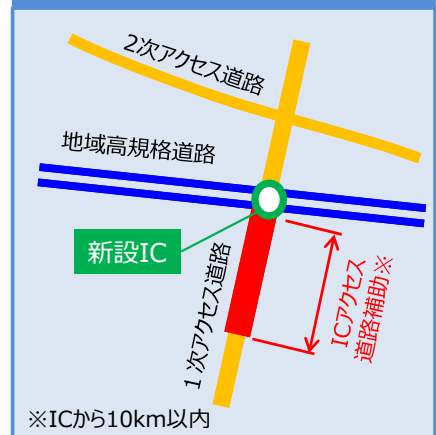
○補助事業の採択要件

- ① 地域高規格道路のICへの1次アクセス道路であること。
- ② 地域高規格道路のICが新設ICであること。
- ③ 地域高規格道路が事業化されていること。

○採択される場合の事業評価への必要な対応

- ① 国のマニュアル※1に基づくB/Cの算出
 - ② 事業評価監視委員会の意見を聴く
 - ③ 評価結果の公表
- ※1 費用便益マニュアル（平成20年11月）

1次ICアクセス道路の概念図



事業目的

- 当該区間は有明海沿岸道路（佐賀福富道路）の末端ICとなる福富ICと接続する1次アクセス道路。



事業概要

全体事業費	17.8億円
工期	平成26年度～平成32年度
全体延長	L=1,200m
事業内容	道路改良工 L=1,200m
	地盤改良工 L=1,200m
	函渠工 N=5基
	舗装工 L=1,200m
	測試 1式
	用地補償 1式

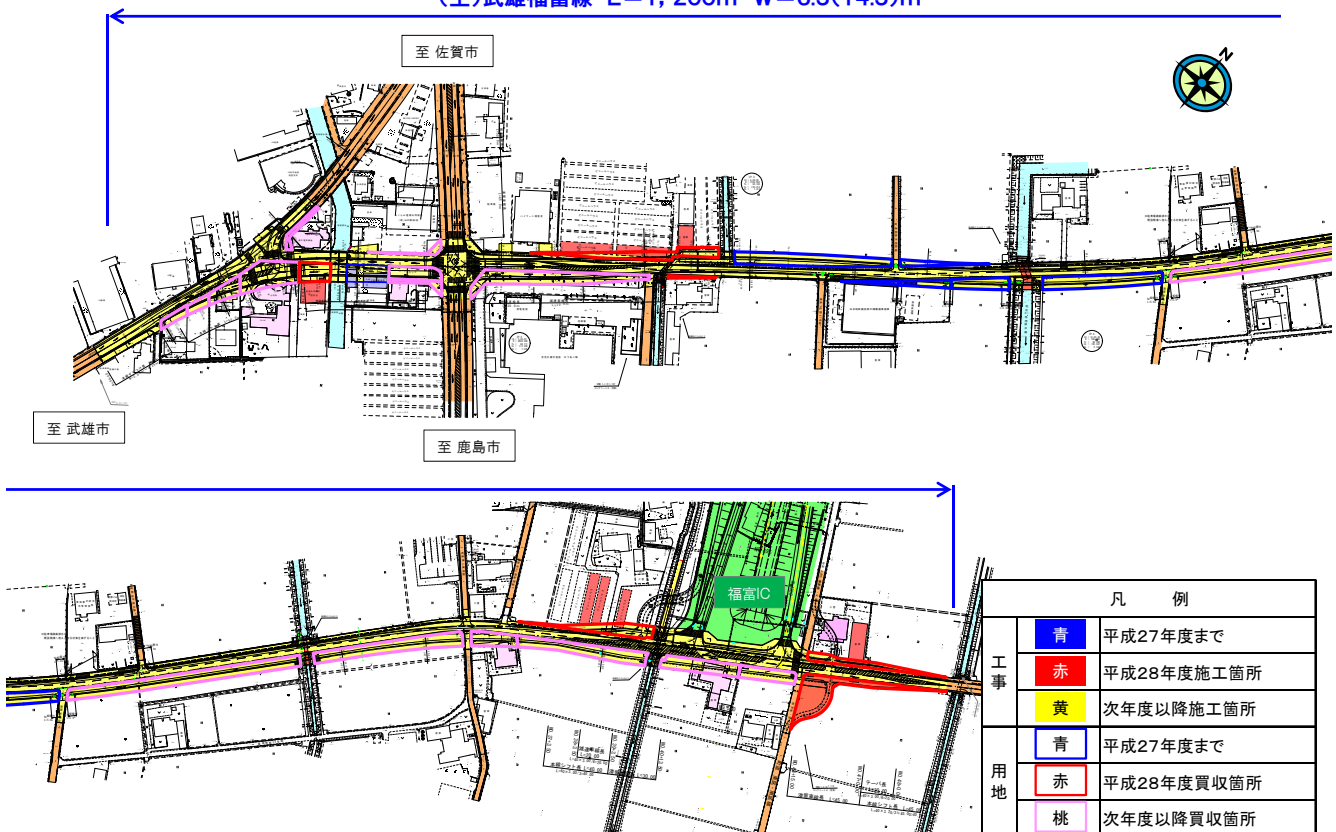
事業の進捗状況

	平成27年度まで	平成28年度	平成29年度以降
事業費(億円)	2.1	4.4	11.3
進捗率(%)	12.1	36.9	100.0
用地進捗率※(%)	10.0	30.0	100.0

※面積ベース

主要地方道 武雄福富線 平面図

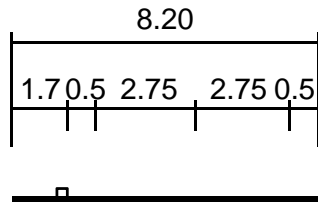
(主)武雄福富線 L=1,200m W=6.5(14.5)m



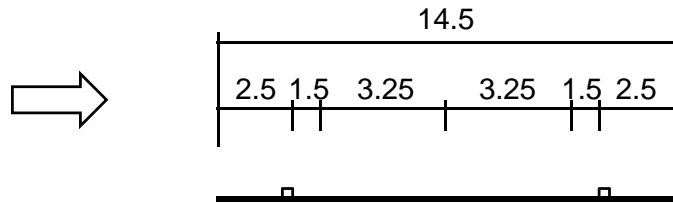
凡 例	
工 事	青 平成27年度まで
	赤 平成28年度施工箇所
	黄 次年度以降施工箇所
用 地	青 平成27年度まで
	赤 平成28年度買収箇所
	桃 次年度以降買収箇所

主要地方道 武雄福富線 横断図

現況



計画



平成28年 現地状況



事業を巡る社会経済情勢等の変化

■平成28年度に有明海沿岸道路などの地域高規格道路の整備と併せて行われる、ICへのアクセス道路の整備に対し、集中的な支援を行うため、新たな個別補助制度が創設された。

■福富IC付近において平成28年10月7日に県内9番目の道の駅として『道の駅しろいし』が登録された。



道の駅「しろいし」イメージパース

費用対効果の要因の変化

・事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B/C)} = 79.5 / 16.7 = 4.76$$

【便益】

走行時間短縮便益	=	70.9億円
走行経費縮小便益	=	4.8億円
交通事故減少便益	=	3.8億円
合計		79.5億円

【費用】

事業費	=	15.9億円
維持管理費	=	0.8億円
合計		16.7億円

※基準年（平成28年度）における現在価値

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定し、コスト縮減を図る。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし。

対応方針(事業課案)

- 当該箇所の事業の必要性に変化がなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。